



2 「SMBC環境配慮評価融資」で高い評価(AA)を取得

株式会社三井住友銀行では、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たすために、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和を図り、地球環境の維持向上につながる商品開発やソリューションに積極的に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた融資条件を設定する「SMBC環境配慮評価融資」を実施しています。

ハリマ化成グループは、2014年度の評価で「環境保全対策の取り組みの状況」「環境ビジネスと環境コミュニケーション」「環境マネジメントシステム」などの面で高い水準であると判断され、2014年10月15日にハリマ化成グループ株式会社にて融資実行証授与式が執り行われました。

今回ご評価いただいた要旨は以下の通りです。①「自然の恵みを暮らしに活かす」という基本理念のもと、松由来のバイオマス資源を核とした化学事業を展開し、環境配慮商品に対する顧客ニーズに応えた研究開発や商品展開を推進している。②環境への負荷を最小限にする生産シス

テムとして、トール油精留プラントにバイオマス発電設備を備え、CO₂排出量削減に貢献している。③ISO14001に基づく環境マネジメントシステムのもと、年度目標と中期目標を定めて負荷低減活動を推進するとともに、認証取得範囲の拡大にも取り組んでいる。

ハリマ化成グループは、この高評価取得を契機にして、資源循環型事業モデル構築へのさらなる挑戦を続けていきます。



▲融資実行証授与式での三井住友銀行 道廣剛太郎常務執行役員(右)と長谷川社長

1 兵庫県高砂市に太陽光発電設備(メガソーラーシステム)完成

ハリマ化成グループは、兵庫県高砂市の伊保港に約7万平方メートルの敷地を保有していますが、かねてより当地の有効活用方法を検討してきました。

その結果、2012年7月に施行された再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)[※]を活用し、当地の一部(1.7万平方メートル)に太陽光発電設備を設置することとし、2014年度に着工しましたが、11月14日に竣工し発電を開始しました。

本制度は、以下の①～③を後押しすることで再生可能エネルギーの導入を促すことを目的に法制化され、一定条件に適合したエネルギーを20年間にわたり、一定価格で電力会社が買い取ることを政府が保証した制度です。

①国産エネルギーとして、エネルギー自給率がアップすること。②CO₂排出量が少なく、地球温暖化対策を進めること。③日本の得意な技術を生かせるため、日本の未来を支える産業を育成すること。

発電設備は、コンクリート製の置き基礎の上に架台を組み、パネル(定格250W)を南向きに傾斜角度10°で4,515枚(定格発電容量1,129kW)設置した、いわゆるメガソーラーとなっており、年間発電量約1,200千kWhを計画しています。

※ FIT:「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく制度。



3 中国関係会社が「グリーン生産認証」を取得

中国の生産拠点である杭州哈利瑪電材技術(杭州市蕭山經濟技術開發区)が、「グリーン生産認証」を取得しました。

中国では2003年に「清潔生産促進法(グリーン生産促進法)」が施行されました。

清潔生産(グリーン生産)認証は製造業の環境負荷低減を促進するため、この法律で定義された、グリーン生産の促進、資源の利用効率の向上、汚染物の排出の減少および防止、環境の保護、人体の健康の保障、社会の発展の促進を達成していると認められた企業に対して各地域の政府機関から認定される制度です。

杭州哈利瑪電材技術はエネルギー使用量の削減を目標に掲げ、技術的な改善や日常管理レベルの向上などにより改善活動を進め、廃棄物の削減、環境リスク対応の強化などに取り組み、2014年11月に、地元政府機関より「グリーン生産認証」を取得しました。

今後は、2004年10月に取得したISO14001(環境マネジメントシステム)との2つの認証取得を基盤として、環境の取り組みを継続的に推進していきます。



▲杭州市蕭山經濟技術開發区政府機関による審査



▲グリーン生産認証取得に取り組んだ従業員